

平成 24 年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書

平成 25 年 9 月

鳩山町教育委員会

## 目 次

- 1 はじめに
- 2 点検評価の対象及び方法
- 3 鳩山町教育振興基本計画の策定
- 4 鳩山町教育行政の重点施策
- 5 重点施策に基づき取り組んだ主な事業と評価
  - (1) 確かな学力と自立する力の育成
  - (2) 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
  - (3) 質の高い教育環境の整備
  - (4) 家庭・地域社会と連携した教育の推進
  - (5) 生涯学習と生涯スポーツの振興
  - (6) 文化の振興と文化財の保存・継承・活用の推進
- 6 おわりに

## 1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正（平成 20 年 4 月 1 日施行）により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなりました。

この報告書は、鳩山町教育委員会が同法の規定に基づき、毎年度教育行政の基本方針として定めている鳩山町教育行政重点施策に関し、平成 24 年度に重点的に取り組んだ事業について、点検及び評価を実施した結果をとりまとめたものです。

## 2 点検評価の対象及び方法

鳩山町では、毎年度「教育行政重点施策及び努力点」を定めております。この重点施策は、教育委員会がその年度に重点的に取り組むべき施策として定めており、これに基づき、教育委員会が自ら点検評価を実施するものです。

また、法第 27 条第 2 項の規定に基づく、有識者の活用については、学識経験者 3 名から意見をいただきました。

氏 名	経 歴 等
松本 正夫	元 今宿小学校 PTA 会長
戸口 健治	現 社会教育委員
高見みな子	現 主任 児童委員

## 3 鳩山町教育振興基本計画の策定

平成 18 年 12 月に教育基本法が改正され、新しい時代の教育の基本理念が示され、同法の中で、「地方公共団体は、その地域における教育の振興を図るため、その実情に応じた教育に関する施策を策定し、実施しなければならない」とし、また、「国や埼玉県が定める計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努力しなければならない」ことが新たに規定されました。鳩山町教育委員会では、平成 23 年度に公募委員を含む「鳩山町教育振興基本計画検討委員会」で検討いただきながら、今後の 10 年間を見据えた鳩山町の教育の姿「基本方針」を示すとともに、今後 5 年間に実施すべき教育施策や事業を具体的に示すものとして「鳩山町教育振興基本計画」を策定しました。

## 4 鳩山町教育行政の重点施策

### 【基本理念】

『意欲を育み 心をつなぐ』

鳩山の子ども発信や子どもたちの実態を踏まえ、未来に希望を持ち、心豊かに、力強く生きていく鳩山の子を育てるために「意欲を育み 心をつなぐ」を基本理念とする。

- 1 意欲を育むために  
愛情（人間愛）を基本に、学び合い・触れ合い・認め合い・励まし合い、心安らぐ居場所を作り、家庭・学校・地域で、意欲を育む。
- 2 心をつなぐために  
一緒に行動（協働）することを基本に、ともに信じ、喜び、絆を深めながら愛情を持って見守ることで、心をつなぐ。
- 3 意欲と心をつなぐために  
言葉の力で「意欲を育み、心を拓く」前向きな声掛けをする。特に、「おはよう、ありがとう、ごめんなさい、どうぞ、どういたしまして」の言葉を大切に指導する。

### 【重点施策】

- I 確かな学力と自立する力の育成
- II 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
- III 質の高い教育環境の整備
- IV 家庭・地域社会と連携した教育の推進
- V 生涯学習と生涯スポーツの振興
- VI 文化の振興と文化財の保存・継承・活用の推進

### 【努力点】

- (1) 確かな学力と自立する力の育成
  - ① 創意を生かした特色ある幼稚園・学校づくりの推進
  - ② 学力向上・指導方法の改善など「わかる授業」の研究
  - ③ 少人数学習・少人数学級編制の推進
  - ④ 特別支援教育の推進
  - ⑤ キャリア教育の推進
- (2) 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
  - ① 豊かな心を育む教育の推進
  - ② 発達段階に応じた健康教育の推進
  - ③ いじめ・不登校問題等学校教育相談体制の充実

- ④ 安全・安心な食育活動の推進・給食センターの整備
- (3) 質の高い教育環境の整備
    - ① 学校・社会教育施設の改修・バリアフリー化の実施
    - ② 社会教育施設の耐震化の実施
    - ③ ICT機器を活用した教育環境の整備
  - (4) 家庭・地域社会と連携した教育の推進
    - ① 家庭教育支援体制の充実
    - ② 学校応援団活動の推進
    - ③ P T A等の各種諸団体との連携強化
  - (5) 生涯学習と生涯スポーツの振興
    - ① 多様な生涯学習の機会の提供と支援
    - ② 文化芸術活動の振興
    - ③ スポーツの振興
    - ④ 地域の人材・専門家などの積極的な活用
    - ⑤ 文化施設・スポーツ施設等の整備・維持管理
    - ⑥ 図書館サービス事業の推進
  - (6) 文化の振興と文化財の保存・継承・活用の推進
    - ① 南比企窯跡群の国指定文化財への登録推進
    - ② 各種文化財の調査研究
    - ③ 無形文化財の保存・継承
    - ④ 多世代活動交流センター展示室の活用
    - ⑤ 学校教育・生涯学習との連携

## 5 重点施策に基づき取り組んだ主な事業と評価

### (1) 確かな学力と自立する力の育成

#### ① 創意を生かした特色ある幼稚園・学校づくりの推進

鳩山町の公立幼稚園、各小中学校ではそれぞれに研究課題を設定して、研究を行い、特色ある教育活動を展開しました。教育委員会は適宜サポートする体制で関わっています。

平成24年度の公立幼稚園・各小中学校の研究課題は以下のとおりです。

鳩山幼稚園 「わくわく タッチで パワー全開」

…幼児が喜んで体を動かすようになる為には…

- 亀井小学校 「学び合いを通し、相互に学力を向上する児童の育成」  
…算数科の学習を通して…
- 今宿小学校 「算数科における問題解決学習の指導と展開の工夫」  
…算数的な表現力と活用力の向上をめざして…
- 鳩山小学校 「豊かな心を育てる言語活動の推進」  
…問題解決力を高める読解力・表現力の育成を中心に…
- 鳩山中学校 「自ら学び、考え、発表する生徒の育成をめざして」  
…共に学びながら、言語活動の充実を図る指導と評価の工夫…

## ②学力向上・指導方法の改善など「わかる授業」の研究

「教育に関する3つの達成目標」を幼稚園、各小中学校の重点目標として位置づけ、自校（園）の子どもたちの実態把握から課題設定を行い、取り組みました。特に、基礎的・基本的内容に係わる部分では、各学校の年間指導計画上に明示して教職員が重点課題として学力向上に取り組みました。

教育委員会では幼稚園と各小学校に町費任用の学習支援講師と特別支援教育支援員を6名ずつ、各小学校に英語指導助手2名を配置するなど人的措置を講じてバックアップを行っています。

また、中学校ではすべての学年において「35人学級」を実現するために町費による少人数学級支援講師（4名）を配置し、きめ細やかな学習指導・生活指導ができる環境づくりを進めました。

毎時間の授業を充実させ、児童生徒に確かな学力をつけることが教師の第一義的な役割であることを鑑み、教師の指導力向上を目指して教育指導業務を充実させました。例として、今年度の新規事業として、若手教員研修会、小学校外国語活動研修会をはじめとする研修を充実させたことや、転入職員の授業参観、各校授業研究会での指導、教育委員会訪問など、各校の訪問指導を充実させました。その中で、一時間の授業の「目標・めあて」を明確にし、「児童生徒のことばでまとめさせる」という児童生徒が成就感を味わえる「わかる授業」の基本形を示し、そこに至るための指導方法の工夫や改善を促す指導を行ってきました。また、鳩山町学力向上推進委員会では、基礎・基本の充実をはかるドリル学習のソフトを作成し、町内全校で実施することで、3つの達成目標の検証では、「計算」について高い成果を上げることができました。

## ③少人数学習・少人数学級編製の推進

教育委員会では幼稚園と各小学校に町費任用の学習支援講師と特別支援教育支援員を6名ずつ、各小学校に英語指導助手2名を配置するなど人的措置を講じてバックアップを行っています。

また、中学校ではすべての学年において「35人学級」を実現するために町

費による少人数学級支援講師（4名）を配置し、きめ細やかな学習指導・生活指導ができる環境づくりを進めました。この措置によって、一人ひとりの生徒に目が届きやすくなり、いじめや非行などの問題行動の抑制に大きな成果を上げるとともに、落ち着いて学習に取り組める環境が整うことで、県の学習状況調査でも上位の成果を出しています。

#### ④特別支援教育の推進

各小学校に特別支援教育支援員を人的措置として配置して特別に支援を必要とする児童へのきめ細やかな指導支援がなされています。また、特別支援学級の新担任となった教員には研修に参加させ、指導力の向上にも努めました。また、県立毛呂山特別支援学校の特別支援学級コーディネーターとの連携を密に行うことで、より専門的な見地からの指導支援も行うことができました。これらの措置により、軽度発達障害の児童へのよりこまやかな個別の支援が充実し、教育効果を上げています。

#### ⑤キャリア教育の推進

小学校段階、中学校の各学年ごとのキャリア発達の段階に合わせ、計画的で系統的にキャリア教育を進めています。中学校1年生では地域の協力を得ながら3日間の職場体験学習を実施し、事前学習、事後学習を含めていねいな指導が行われています。生徒は、これらの体験の中で、達成感や満足感、自信や自己有用感を獲得し、働くことや学ぶことへの意欲につながる有意義な学習が行われました。

### 【評価】

#### ① 創意を生かした特色ある幼稚園・学校づくりの推進

鳩山町の公立幼稚園、各小中学校では各園各校の幼児、児童、生徒や地域の実態を的確に把握し、課題を設定して研究に取り組みました。いずれの園や学校も創意を生かした特色ある教育活動を展開することで特色ある園づくり、学校づくりが行われました。

#### ② 学力向上・指導方法の改善など「わかる授業」の研究

若手教員研修会の新規実施、小学校外国語活動研修会をはじめとする研修を充実させたことや、転入職員の授業参観、各校授業研究会での指導、教育委員会訪問など、各校の訪問指導を充実させました。その中で、一時間の授業の「目標・めあて」を明確にし、「児童生徒のことばでまとめさせる」という児童生徒が成就感を味わえる「わかる授業」の基本形を示し、そこに至る

ための指導方法の工夫や改善を促す指導を行なってきました。その結果、教師の指導力の向上はもちろん、「授業で勝負できる教師」の意識も高めることができました。

### ③ 少人数学習・少人数学級編制の推進

この措置によって、一人ひとりの生徒に目が届きやすくなり、いじめや非行などの問題行動の抑制に大きな成果を上げています。そして、落ち着いた学校生活の中で集中して学習に取り組める環境が整うことで、県の学習状況調査でも上位の成果を出しています。

### ④ 特別支援教育の推進

各小学校に配置した特別支援教育支援員の人的措置、特別支援学級の新担任となった教員の研修への参加、県立毛呂山特別支援学校の特別支援学級コーディネーターを通じた専門機関との連携により、軽度発達障害の児童へのよりこまやかな個別の支援が充実し、教育効果を上げています。

また、年間4回の就学支援委員会を開催し、園児、児童・生徒一人ひとりに合った就学先をアドバイスできる体制のもと、就学について支援を行いました。

### ⑤ キャリア教育の推進

小学校、中学校の各学年ごとのキャリア発達の段階に合わせ、計画的で系統的にキャリア教育を進めることで将来の自立へ向けた、健全な職業観、勤労観を醸成する指導が行われました。進路学習はもとより、道徳などでも人間としての生き方についての自覚を深める学習が計画的になされています。

## (2) 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

### ① 豊かな心を育む教育の推進

各学校で、日々の学校の教育活動全体、豊かな体験活動をとおして道徳的な心情、判断力、実践意欲や態度を育てています。道徳・学活の時間の確保と充実を図り、各校の創意と工夫を生かした豊かな体験活動を展開することで、児童生徒に体験の中で実践的・経験的に道徳的心情の醸成を図ってきました。

### ② 発達段階に応じた健康教育の推進

鳩山町体力向上推進委員会の活動を充実させ、体力向上、健康教育に組織的に取り組みました。心身ともに健康な各学校における健康教育の全体計画を作成し、系統的・計画的に発達段階に応じた健康教育を推進しました。さらに、学校保健委員会等に外部講師を招き「健康教育」についての教職員・保護者対

象の講習会を開催したり、歯科衛生士を招いた児童対象の歯科授業を展開したりする等、健康教育の充実を目指した取り組みを行いました。

### ③いじめ・不登校問題等学校教育相談体制の充実

鳩山町教育相談室専門員等会議をとおして、小・中での情報連携を行い、積極的な相談体制を作り、いじめの早期発見、早期対応を図れるようにしました。

また、いじめの日常の実態把握のために年3回のアンケートや個別の面談を行いました。さらに、県から中学校に派遣されるスクールカウンセラーの計画的な活用を図りました。

### ④安全・安心な食育活動の推進・給食センターの整備

全学校で「早寝・早起き・朝ごはん」を合い言葉に、朝食欠食児童の減少に取り組みました。また、地域の農産物を給食に取り入れ、食材について理解することにより郷土の文化を知らせました。食への関心を高めるため、給食集会でエプロンシアターを行い、食への正しい情報を伝えました。

学校給食の放射線量測定を行い、児童生徒に安全・安心な給食を提供しました。また、給食センター施設の更新についての「新たな給食のありかた検討委員会」を立ち上げて検討しました。

## 【評価】

### ① 豊かな心を育む教育の推進

地域や家庭の協力を得ながら、各校で創意と工夫を生かした豊かな体験活動を展開することで、児童生徒に体験の中で実践的・経験的に道徳的心情の醸成を図ってきました。学校を中心に地域全体で子どもを育てる体制づくりがなされてきています。

教育委員会としては、児童生徒一人ひとりの発達段階に合わせた学校教育における人権教育の実践や社会教育分野における人権教育を関係機関や団体などと協力連携し、計画的に諸事業を推進しています。

その結果、学校における人権教育の成果として教職員などの指導により、児童生徒が相互に協力し他人を思いやる気持ちを身につけ、行動できるようになったことについては評価できます。

また、いじめやそれに類似した行動が皆無とは言えないと思われるため、各学校での人権教育推進組織や教育相談体制の充実・強化に努めるとともに、学校・家庭・地域などが連携して一人ひとりの児童生徒の状況を踏まえ、早期に対応し解決する必要があります。

## ② 発達段階に応じた健康教育の推進

鳩山町体力向上推進委員会の活動を充実させ、体力向上、健康教育に町内の学校全体で足並みをそろえて組織的に取り組むことができました。また、各学校における健康教育の全体計画を作成し、系統的・計画的に発達段階に応じた健康教育が進められました。

## ③ いじめ・不登校問題等学校教育相談体制の充実

鳩山町教育相談室専門員等会議を5回行い、小・中での情報連携を密に行い、積極的な相談体制を作り、いじめの早期発見、早期対応はもちろん、不登校や問題行動の情報の共有化も図れるようにしました。また、県から中学校に派遣されるスクールカウンセラーの勤務日に合わせて、面談を設定したり、教職員の研修の講師とするなど計画的に活用しました。

## ④ 安全・安心な食育活動の推進・給食センターの整備

学校給食センターでは、全学校で「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に、朝食欠食児童の減少に取り組みました。

鳩山町の農産物を給食に取り入れ、食材について理解することにより郷土の文化を知らせました。食への関心を高めるため、給食集会で講話、エプロンシアターを行い、食への正しい情報を伝えました。また、子どもの食育を考えるプロジェクト「はとっ子給食レシピコンテスト」の優秀作品を給食に提供し児童・生徒の食に関する意識の高揚を図りました。

学校給食の食材3品と給食一食分の放射線量測定を行い、児童・生徒に安全安心な給食を提供しました。また、測定結果を鳩山町ホームページに公表しました。

学校給食センターは、建築後31年が経過し施設や設備の老朽化が進んでいる状態です。今後とも安全でおいしい給食を提供するためには最新の衛生管理基準に適合した施設・設備への更新が緊急の課題です。これからの学校給食のあり方と施設について、将来構想を検討しています。「学校給食の新たなあり方調査検討委員会」において、平成24年度、学校給食の供給方式、先進地視察、給食食器選定等の検討、実施しました。

## (3) 質の高い教育環境の整備

### ① 学校・社会教育施設の改修・バリアフリー化の実施

学習環境の整備・充実としては、亀井小学校の音楽室への空調機設置工事や今宿小学校の放送設備改修工事、鳩山小学校の校庭築山撤去工事、鳩山中学校の体育館アリーナ改修工事などを行いました。また、国の補助金を有効的に活用し、学校水泳プール事業として鳩山小学校のプール改築工事（平成25年度

への繰越事業)を行うことができました。

学校名	主な学校施設改修工事
亀井小学校	音楽室空調機設置工事 校庭樹木傾斜防止工事 黒松傾斜復旧工事
今宿小学校	放送設備改修工事 受水槽加圧ポンプ炉台交換工事 玄関前スロープ設置工事
鳩山小学校	校庭築山撤去工事 職員室前通路補修工事 プール改築工事 (H24→H25)
鳩山中学校	第2グラウンド砂場改修工事 体育館アリーナ改修工事 校舎東側外周フェンス改修工事 校舎東側通路改修工事

## ②社会教育施設の耐震化の実施

社会教育施設としての、鳩山町中央公民館は昭和51年度建築でありまして、耐震化工事は未施工でした。

今回、国の補助金を活用して、耐震化並びに大規模改修工事としまして、鳩山町中央公民館耐震化等工事(平成25年度への繰越事業)を行うことができました。

施設名	工事内容
中央公民館	耐震化等工事

## ③ICT機器を活用した教育環境の整備

平成21年度に電子黒板等のICT機器の各学校への整備が図られ、引き続きこれらの機器を活用しました。

## 【評価】

### ①学校・社会教育施設の改修・バリアフリー化の実施

学校施設の整備について、学校側からの要望等を聞き、補助事業で対応できるものについては積極的に活用して整備を行いたいと考えています。

### ②社会教育施設の耐震化の実施

工事は来年度に完成いたしますが、今回の工事で建物の耐震性を満たすよ

うになりますので、工事終了後は利用者に安心して利用していただけるようになります。

### ③ ICT機器を活用した教育環境の整備

引き続きこれらのICT機器をいかに活用し、教育効果を高めていくかが課題となっています。そのために、今後ともさまざまな教員の研修の機会を増やしていかなければならないと考えています。

## (4) 家庭・地域社会と連携した教育の推進

### ①家庭教育支援体制の充実

今日、少子高齢化・国際化・高度情報化など子どもたちを取り巻く社会環境が急変しています。このような状況を踏まえ、「親や地域で子どものよさを更に伸ばそう 子育ての町鳩山を創ろう」をテーマに、幼児・児童・生徒を持つ保護者をはじめ町民を対象に子どもたちの健やかな成長を願い、小・中学校PTAを中心に町内の諸団体などで組織する「鳩山町親学講座実行委員会」が平成22年度に発足しました。

毎年実行委員会が主体的に企画・運営し、家庭・学校・地域・職場が相互に連携し、町民一人ひとりが子育てについて関心や意識を高め、地域を挙げて子育てに取り組む町鳩山の実現のため、親学講座を開設しました。

#### 親学講座講演会の実施状況

日時	会場	講師	演題	主催	参加者
10/28(日) 14:00 ～16:00	鳩山町 文化会 館	作家・タレント 室井 佑月氏	「自分らしい子育て」	鳩山町親学 講座実行委 員会	340名

次に、家庭の教育力の向上を図るため、小・中学校や町立幼稚園とその保護者の協力により「親の学習講座」事業にも取り組みました。就学時健康診断や中学校入学予定者保護者説明会、中学校の家庭科の授業における中学生と乳幼児とのふれあい体験学習などを実施しました。指導者は「親の学習講座」事業指導者養成講座の修了者や埼玉県家庭教育アドバイザーに依頼し、事前の打合せ会などにより協議して、執務の割り振りを行いました。

特に、乳幼児と鳩山中学校生徒とのふれあい授業は、家庭科での「育児や幼児との接し方」の単元に基づく体験学習で、日頃乳幼児とふれあう機会の少ない中学生が、赤ちゃんのかわいさや命の大切さ、親への感謝の気持ちを育むことを目的に、平成19年度から社会教育委員が中心となって中学校、幼稚園、乳幼児を持つ保護者、埼玉県家庭教育アドバイザーなど多数の方々のご協力に

より充実した事業を継続して取り組んでいます。

これらの事業の成果としては、町民相互の交流を図り、各種活動への理解やふるさとを見つめる心を涵養することができ、また、親子のコミュニケーションの大切さ、家庭教育の重要性などについて改めて考える機会を提供できたものと捉えております。こうした生涯学習事業の取り組みが町の活性化に寄与できたものと考えています。

#### 親の学習講座事業の実施状況

位置づけ	時期	会場	回数	テーマ	参加者	指導者
就学時健診	10月	各小学校	3回	元気に学校生活を送る	79名	3名
家庭科授業	7~10月	鳩山幼稚園	4回	乳幼児と生徒のふれあい	109名	48名
新入学説明会	1月	鳩山中学校	1回	思春期の心	92名	1名
合計			8回		280名	52名

また、町民の皆様に郷土「はとやま」をより一層理解していただくため、地域にまつわる民話を披露し、童謡を歌う。小・中学生からふるさとに関する作文を広く募集し、その一部の作品を朗読発表する。これらの活動を通して青少年の健全育成に努め、明るいまちづくりを推進することを目的に、「ふるさとの民話・童謡まつり」を開催しました。この催しでは、社会教育委員の皆さんが当日の運営（受付・会場・進行の各係）を行い、小・中学生を含めた出演団体（7団体）が童謡等を披露し、また、小・中学生の代表によるふるさと作文の朗読発表を行いました。参観者は403名でした。

#### 事業実施状況

日時	事業名	会場	参加者数
11/3 (土) 13:30~15:30	ふるさとの民話・童謡まつり	鳩山町文化会館	出演者 7団体（個人） 作文朗読者 小・中学生 9名 参観者 403名

#### ②学校応援団活動の推進

家庭・地域社会との連携を図るために、PTA活動を拡大する形で21年度に全校で学校応援団が設置されました。平成22年度から年に2回の学校応援団コーディネーター会議を教育委員会が主催し、コーディネーターの横の情報連携を図る体制をつくりました。

#### ③PTA等の各種諸団体との連携強化

私の家族・役割充実プラン（一人一役運動）

この施策は家庭の中で児童・生徒一人ひとりの所属感・自己有用感を高めるために施策として掲げたものです。このプランを具現化するために、校長会・教頭会での指示を通して学校単位での家庭への啓発を行いました。特に、長期休業中には各学校で発行するしおり等にも家庭の中での役割を持たせるようにとの働きかけが行われました。

## 【評価】

### ① 家庭教育支援体制の充実

少子高齢化、情報化、国際化など社会情勢が急激に変化する今日、住民のニーズも多様化しています。地方自治体の財政状況も長引く景気低迷の影響を受け、住民サービスの維持に課題があります。こうした状況に対処するためには、行政と住民などが連携協力し、相互に知恵を出し合い、協働で事務事業を進めていくことも必要です。また、過去の成果や課題を踏まえ、常に創意工夫した取組や改善が不可欠です。

今後の生涯学習事業については、町民や各種のグループ・サークルが連携し、自ら実行委員会などを組織して主体的に取り組む方法も望ましいと考えています。

毎年11月の「はとやま祭」に合わせ、社会教育委員の年間事業計画に位置づけられ、主体的に運営している「ふるさとの民話・童謡まつり」は、すでに生涯学習事業として町民に定着しており、評価できますが、民話の朗読者の確保が年々難しくなる状況を踏まえ、形骸化防止のため事業の名称の見直しも必要と思われます。

親の学習講座事業に関しては、少子化の中で、親子のコミュニケーションの大切さや家庭教育の重要性などについて、町民に改めて考える機会を提供できたものと認識しています。

親学講座は、平成22年度から継続し、町内の各種団体や組織の代表者で構成された実行委員会で講座内容や運営の役割分担などについて協議しました。鳩山町親学講座実行委員会の主催により講演会を1回開催しました。

参加者の多くが子育てや家族について講師の話に感動するとともに、「有意義な講演会で満足しました」との感想や「今後も講演会を開催してより多くの人に参加してもらいたい」、などの要望もありました。

各社会教育関係団体への支援については、関係法令等に基づき育成するとともに、活動状況を把握し、適時助言をしていくことも必要です。財政支援については、引き続き関係団体の活動実績を踏まえ、判断していく必要があります。

また、各社会教育施設や当該設備については、町民が安全に安心してご利用いただけるよう、日頃の適正な管理が大切であることは当然ですが、限ら

れた財政(予算)の下では、課内で連絡調整し、修繕すべきところは優先順位を設けるなど計画的に進める必要があります。

## ② 学校応援団活動の推進

学校応援団として町内の全校設置3年目となり、コーディネーターの方々の連携が進み、自主的な情報交換等も行われてきました。コーディネーターの方々もPTA関係(経験者も含めて)からの選出が多く、小学校3校の児童が中学校1校へ進学する鳩山町ならではの連携が図れてきていると感じます。特に中学校でのコーディネーター3名(各小学校区より選出)という体制が有効に機能しています。課題としては、仕事を持たれている方々が多く県の研修等に参加できない場合が多いことです。

## ③ P T A等の各種諸団体との連携強化

家庭の中での活動であるために、その実施についての客観的な評価を行うことが難しく、実際にどれくらいの児童・生徒が一人一役を実施したのかは定かではありません。また、家庭によっては、当然のことであるということで普段から取り組んでおりました。教育委員会として、重点施策の一つとしての位置づけを検討していきます。

## (5) 生涯学習と生涯スポーツの振興

### ①多様な生涯学習の機会の提供と支援

あらゆる世代の町民の方に、学習の機会を提供すべく、各種講座を実施しました。

#### ア 世代別等講座

参加者の世代等を分けて開催することにより、情報を共有しやすくするようにはしました。

No.	講座名	回数	募集人数	申込者数	参加延人数	内容
1	わんぱく学級	6回	30名	27名	109名	七夕飾りを作ろう 社会科見学 石のひみつを探ろう マジック教室 カパを作ろう もちつき大会
2	寿大学	4回	定員なし	304名	642名	演奏会 町外研修 町民の集い ステージ発表

3	女性学級	5回	定員なし	41名	118名	講演会 町外研修 健康体操 フラワーアレンジメント 料理教室
計				372名	869名	

### イ 趣味・教養講座

同じ趣味を持ち、同じ目的を持つものどおしの学習の場を持つことにより、お互いに高め合いながら、学習することができるようにしました。

No.	講座名	回数	募集人数	申込者数	参加延人数	内容
1	癒しのミュージアム	1回	30名	37名	29名	珠玉のコレクション (トホリタ美術館)
2	スポーツ吹矢を楽しもう	4回	15名	12名	43名	呼吸法から試技の実践
3	しめ飾り教室	1回	10名	9名	8名	しめ飾りの作成
4	折り紙教室	4回	10名	7名	23名	一回一作品の作成
5	パソコンと仲良くなるろう	3回	30名	35名	93名	会場：鳩山高校 基本、インターネット操作
6	立体切り絵教室	5回	15名	12名	54名	季節を題材とした一回一作品の作成
7	パソコン相談会	10回	定員なし	随時来館	57名	パソコン操作の疑問に対応
8	よみがえる祖先の息吹	1回	30名	17名	16名	発掘調査結果報告会
9	陶芸入門教室	5回	10名	8名	32名	基本的な作陶を学ぶ
10	川柳教室	4回	10名	8名	28名	課題による初心者対象による川柳づくり (新規)
11	絵手紙を描こう	5回	10名	12名	52名	絵手紙の作成
計				157名	435名	

人権を尊重する教育の推進では、さまざまな人権問題を解決するため人権教育を系統的、計画的に推進し、人権教育・人権啓発事業に取り組みました。

主な人権教育推進事業では、小学生を対象とした「のびのび鳩山」(1～3年生)を6回、「子どもおもしろ科学館」(4～6年生)を5回実施しました。「のびのび鳩山」の第2回・第6回学習会、「子どもおもしろ科学館」の第3回・第5回学習会では、それぞれ中央公民館主催の「わんぱく学級」(対象3～6年生)と合同で開催し、学習の環が広がりました。

「のびのび鳩山」や「子どもおもしろ科学館」では、児童が相互に協力し、町内の散策やものづくり、実験や観察を通して豊かな心や思いやりの心を醸成するための体験学習の場を提供しました。

「町の中を歩いたり、季節の行事を体験することができた。また来年も参加したい」、「新しい友達も増えた」、「いろいろなものを作って楽しかった」「この道具や材料はどこで手に入るの?」、「早く実験を始めたい」、「どうなるの? もっと実験や観察をやってみたい」などの感想や疑問がありました。

a のびのび鳩山

(単位：名)

回	期 日	時 間	内 容	会 場	参加者数
1	5/26 (土)	9:00~11:30	野草で遊ぼう	中央公民館	44
2	6/30 (土)	9:00~11:30	七夕飾りを作ろう	中央公民館	39(54)
3	9/ 8 (土)	9:00~11:30	尾根歩きをしよう	雪見峠・石坂地内	31
4	11/17 (土)	9:00~11:30	どんぐり笛を作ろう	石坂集会所	34
5	12/15 (土)	9:00~11:30	焼き芋を作って食べよう	中央公民館	39
6	1/19 (土)	9:00~11:30	もちつき大会	農村公園	39(54)

※ 参加者数の欄で、( )内の数値は「わんぱく学級」の参加者数を含む

b 子どもおもしろ科学館

(単位：名)

回	期 日	時 間	内 容	会 場	参加者数
1	6/16 (土)	9:00~11:30	体がものさし	石坂集会所	12
2	8/ 2 (木)	9:00~15:30	アルミ缶のリサイクル体験 見沼グリーンセンター見学	さいたま市リサイクルプラザJBほか	17
3	9/15 (土)	9:00~11:30	石のひみつを探ろう	中央公民館	18(30)
4	10/13 (土)	9:00~11:30	植物からデンプンを取ろう	石坂分館	12
5	12/ 8 (土)	9:00~11:30	カイロ作り	中央公民館	16(28)

※ 参加者数の欄で、( )内の数値は「わんぱく学級」の参加者数を含む

男女共同参画社会の実現を目指し、「<sup>ひと</sup>女と<sup>ひと</sup>男の生き方学級」を開催しました。受講生の中から運営委員を募り、運営委員会で協議を重ね事業計画や年間

テーマを定め、学級では運営委員が受付・司会・記録など役割分担しました。

年間テーマを「鳩山を知る」～ 古<sup>いにしえ</sup>から現在に至る人々の生活と、それを取り巻く環境を様々な分野を通して、鳩山町について学習しましょう。また、動植物の観察を通して、命や自他を大切にす思いやりの心を醸成し、身のまわりのさまざまな人権問題を解決するため、一人ひとりの人権意識を高めていきましょう～ と定め、地域の歴史学習を通して一人ひとりの基本的人権を尊重し、心の醸成に重点を置いて学習を重ねてきました。受講生が相互に協力し、さまざまな人権問題を正しく理解して一人ひとりの人権意識を高め、偏見や差別を解消するため、学習活動に取り組みました。

c 女と男の生き方学級

(単位：名)

回	期日	時間	内 容	会 場	参加者数
1	5/20 (日)	9:30～12:00	足元の草花と町の境を学ぶ	石坂地内ほか	16
2	7/12 (木)	8:30～15:30	鳩山の魚を見つけよう	さいたま水族館	21
3	9/25 (火)	8:30～12:00	窯跡から見る鳩山の古の人々の生活	新沼窯跡	16
4	11/27 (火)	9:30～12:00	続・鳩山町内の鎌倉街道上道を歩く	須江・奥田地内	14
5	2/26 (火)	9:30～12:00	身の回りの植物上映	町立図書館	17

研修会等では、教職員を対象とした「人権問題研修会」を、また、町民を対象とした「人権問題を考える町民の集い」をそれぞれ1回開催しました。

「人権問題研修会」では、児童生徒の発達段階に応じた人権教育を推進するため、「人権教育の現状と課題」講演を教職員は熱心に学習し、充実した研修会になりました。

また、「人権問題を考える町民の集い」では、人権が尊重された社会づくりに向けて町民意識の高揚を図るため、鳩山中学校吹奏楽部の演奏によるオープニング、小・中学生の代表による人権作文の朗読発表、最後に「マスオの人権問題考 ことばはプレゼント」と題して講演がありました。

成果としては、人権教育推進事業や研修会等の開催により、さまざまな人権課題について町民一人ひとりがその現状を正しく理解する学習機会に参加され、自分自身の問題として自他を大切にす心を醸成することができたのではないかと考えています。

今後もさまざまな人権課題の解決に向け、一人ひとりの人権意識の高揚を

図るため人権教育・人権啓発に努めていきたいと考えています。

d 人権問題研修会等実施状況

(単位：名)

期 日	時 間	内 容	会 場	参加者数
8/17(金)	9:30~11:30	鳩山町人権問題研修会 講演：演題「人権教育の進め方」 ～同和教育から学んだこと～ 講師：東松山市立東中学校長 田中久隆氏	鳩山町役場	73
12/1(土)	9:30~12:00	鳩山町人権問題を考える町民の集い オープニング 鳩山中学校吹奏楽部の演奏 人権作文発表(小・中学生代表4名) 講演：演題 「マスオの人権問題考 言葉はプレゼント」 講師：増岡 弘氏(声優)	鳩山町文化会館	378

ウ 地域コミュニティー事業

学習の場を屋外に移し、日頃出会うことも少ないものがつどい、お互い励まし合いながら、自然を満喫し、つながりを構築する。もって、事後の学習仲間を得る機会を提供しました。

No.	講 座 名	回数	募集人数	申込者数	参加人数	内 容
1	春のハイキング	1回	28名	42名	28名	美の山公園(埼玉県秩父郡皆野町)
2	夏のハイキング	1回	28名	50名	28名	赤城山(群馬県前橋市)
計				92名	56名	

また、関係機関との連携により、下記の事業も行いました。

- (ア) 第55回鳩山町民体育祭(鳩中第2グラウンド) 10月7日 教育委員会と共催
- (イ) 第30回鳩山駅伝大会(鳩山町内) 11月16日 教育委員会と共催
- (ウ) 第39回正月マラソン大会(農村公園周辺) 1月3日 教育委員会と共催

エ 教育機関との連携事業

町内関係教育機関等と連携して、日頃の教育成果を、広く町民の方に知っていただけるように、発表の場を開催しました。

・はとやま幼児ふれあい絵画展（会場：文化会館ホワイエ）

開催日時	内 容	出 品 者	来場者数	前年度比
6月16日 6月17日 10:00～	年長児絵画作品の展示	鳩山幼稚園 ひばり保育園 石坂幼稚園	625名	△74名

・ふれあい演奏会（会場：文化会館ホール）

開催日時	内 容	出 演 者	来場者数	前年度比
9月22日 13:30～	各校単独演奏及び 合同演奏の三部構成	鳩山中学校吹奏楽部 東松山市立南中学校吹奏学部 毛呂山町立川角中学校吹奏学部	362名	32名

②文化芸術活動の振興

地域の機関・文化芸術団体と連携を図り、発表の場や参加の機会の拡充を図りました。

ア はとやま大人バンドステージ（会場：文化会館ホール）

地域に密着した活動をしている、団塊の世代やミドル世代を中心としたアマチュアバンドが、「鳩山町をもっと元気に！」を合言葉に、演奏しました。

開催日時	内 容	出 演 者	来場者数	前年度比
3月31日 13:30～	鳩山在住、在勤の団塊世代ミドル世代が中心のアマチュアバンドによるステージ	スウィングストリングス MusicMates ステージア ウッズ・アンド・ウォーター	170名	70名

イ 第17回だれでもチャレンジステージ（会場：文化会館ホール）

町内で活動する文化団体等が、協力して実行委員会を編成し、文化会館を会場として、発表会を開催しました。

開催日時	内 容	出演者数	前年度比	来場者数	前年度比
6月17日 10:00～	吹奏楽、合唱、独唱、 ハーモニカ演奏、お囃子舞 踊、ダンス、演舞 等	団体 19 個人 4	団体 0 個人 0	582名	△64名

※主催：だれでもチャレンジステージ実行委員会 協力：教育委員会、中央公民館

ウ 第37回中央文化祭（会場：中央公民館ホール・ロビー、文化会館ホワイエ）  
公民館利用者団体を中心に、町内地域住民の年間活動を一堂に展示するために、芸術文化の祭典を開催し、文化活動の向上と推進を図りました。

開催日	内 容	出品者・数	前年度比	来場者数	前年度比
11月2日 ～4日	絵画・生花・書道・編物・ 七宝焼・写真・俳句・ お茶席・盆栽など	団体 31 個人 3 1,100点	団体 2 個人 0 94点	500名	0名

※中央文化祭実行委員会と共催

エ 第17回鳩山陶芸展（会場：文化会館ホワイエ）

陶芸活動を通して構築した創作群を一堂に展示することにより、地域文化の向上と推進を図りました。

開催日	参加団体名	出品数	来場者数	前年度比
11月2日 ～4日	ひよう会・山吹会・なずな窯の会・ きんもくせい窯の会・釉遊会・ 陶芸倶楽部マスキー・陶芸入門教室	93点	397名	103名

※鳩山陶芸展実行委員会と共催

### ③スポーツの振興

「子どもから高齢者まで」といった生涯スポーツの原点に基づき、スポーツ少年団や体育協会並びにスポーツ推進委員・スポーツ振興委員協議会との連携を図り、各種のスポーツ大会等を開催しスポーツ活動の振興を図りました。

また、各競技部の主管による各種大会や講習会等も開催しています。

※主な大会と参加者数

大 会 名	参加者数
第26回グラウンドゴルフ大会（個人戦）	182名
カルチャーウォーキング	218名
第5回小学生グラウンドゴルフ大会	77名
第30回鳩山駅伝大会	40チーム
第39回正月マラソン大会	338名
第21回鳩山親善サッカー大会	15チーム
第30回鳩山町スポーツ少年団野球大会	22チーム
第6回近隣交流ミニバスケットボール大会	7チーム

体育協会及びスポーツ少年団加盟団体に対し、育成費を支給しました。また、各競技部の自主的活動に対し、本部としての活動支援も行いました。

種 別	育成費支給団体数	育成費支給額
体育協会	15	718,650円
スポーツ少年団	6	678,100円

各競技部における技術指導だけではなく、「もしもの時の救命知識と対処方法」を学ぶため、第6回普通救命講習会を開催しました。スポーツの技術指導だけでなく、幅広い知識と対応できる力が必要だと考え企画しました。

種 別	参加人数
体育協会	5名
スポーツ少年団	8名

スポーツ少年団指導者認定員講習会及び指導者研修会に参加し、新たな指導者の人材確保と更なる技術指導等の習得を図りました。

#### ④地域の人材・専門家などの積極的な活用

地域の逸材的な人材や専門家の発掘に努め、新たな体力作りに活用するために施策として掲げたものです。このプランを具現化するために情報を集めました。情報不足などにより実際の活用に結びつけませんでした。

#### ⑤文化施設・スポーツ施設等の整備・維持管理

スポーツ担当では、スポーツ施設等8箇所を管理しています。利用者が常に快適に使用できるよう努めています。近年、施設の老朽化が著しく頻繁に補修並びに修繕を行っています。また、利用者から施設の改善等の要望により施設の整備を行っています。厳しい予算の範囲内で優先順位を決め改善に努めました。

#### ⑥図書館サービス事業の推進

図書館では、利用者の多様な学習及び調査研究活動を支援することを目的として、インターネット端末が利用できる環境を整備しています。また、利用者の拡大を図るため、乳幼児を対象とした「すこやかブック事業」や未就学児を対象とする絵本を使ったお話と手遊びを実施する「うさぎちゃんのへや」、小学生まで児童を対象として本を使ったお話と紙工作をする「こどもおはなし会」を実施すると共に、小・中学生には「図書館だより」を発行

して図書館行事の案内や図書案内を行い利用者の拡大を目指しました。

## 【評価】

### ① 多様な生涯学習の機会の提供と支援

生涯学習の機会として、幅広い年代層の方々に、分野別、時には年代別にプログラムを提供して、多くの参加者を得ることができました。

公民館事業として、安定した評価をいただいているものと感じています。

今後とも、住民ニーズの把握に努め、多様化する嗜好に適合する講座等の開催を進めるとともに、学習意欲に富んだ方々の学習支援ができるよう努めていきます。

現在、私たちの身の回りには女性・子ども・高齢者・障害者・外国人・同和問題などさまざまな人権問題があります。こうした問題を解決していくためには、一人ひとりが個々の問題を正しく理解し、お互いに相手を思いやり、偏見や差別を解消しようとする心を養うとともに、行動していくことが大切です。

社会教育分野における人権教育の取り組みについては、人権教育推進事業(「のびのび鳩山」、「子どもおもしろ科学館」、「女と男の生き方学級」)を通して参加者の人権意識が徐々に高まってきていると思われ、評価できますが、参加者は町民の一部であるため、今後もより多くの人々に学習への参加を呼びかけ、さまざまな人権課題の解決に努めていく必要があります。

また、研修会への参加についても団体や組織などに所属する一部の町民に限られるため、今後も広報活動に努め、人権教育・人権啓発の効果的な方策について見直し、粘り強く継続して取り組んでいくことが大切であると思われれます。

石坂集会所については、人権教育・人権啓発を推進するための拠点施設であると同時に、日頃から地域住民の集会施設として、また、町民の文化活動や相互交流のための施設として住民が利用されており、一定の評価はできると思われれます。ただし、通常は無人の施設であるため、今後も施設設備の定期的な点検を励行し、町民が快適に利用できるよう、教育委員会で適正に管理運営していきたいと考えています。

### ② 文化芸術活動の振興

地域で活躍・活動をしている団体等の日頃の成果を発表する場として、中央文化祭、鳩山陶芸展、だれでもチャレンジステージ、はとやま大人バンドステージを開催していますが、各参加者には、日頃の練習、創作活動の成果を披露できるということで、大変好評を博しています。

一方、課題も見えてきまして、特に、高年者を中心として創作活動にとて

も意欲的な方が増えていまして、施設面の不足が懸念されます。鳩山町の年代分布の大きなウェイトを占めています、団塊世代の方々が前期高齢者になり、社会活動から自己実現へと移行してきますので、地域資源の必要性が高まってきます。今後は、限られたスペースでの活動になりますので、より充実した活動が振興できるよう調整を進めていきます。

### ③ スポーツの振興

「子どもから高齢者まで」といった生涯スポーツの原点に基づき、スポーツ少年団や体育協会並びにスポーツ推進委員・スポーツ振興委員協議会との連携を図り、各種のスポーツ大会等を開催しスポーツ活動の振興を図りました。また、各競技部の主管による各種大会や講習会等も開催しています。

### ④ 地域の人材・専門家などの積極的な活用

地域の逸材的な人材や専門家の発掘のための情報収集不足により、新たな体力作りに活用することができませんでした。

今後は目標に沿い人材の掘り起こしに努め、地域の人材・専門家などの積極的な活用に結びつけたいと考えています。

### ⑤ 文化施設・スポーツ施設等の整備・維持管理

限られた予算の範囲内において、利用者からの要望などに沿うよう努力し維持・補修等に努めていますが、要望に追いつかないのが現状です。

しかし、厳しい予算内で優先順位をつけ、施設の維持管理に努めていきたいと考えています。

### ⑥ 図書館サービス事業の推進

図書館では、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、町民を主とする一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することが求められていることから、利用者の多様な学習及び調査研究活動を支援することを目的として、インターネットが利用できる環境を整備しました。今後も少子高齢化と多様化する住民ニーズに対応できるよう一層のサービス向上に努めていきます。

## (6) 文化の振興と文化財の保存・継承・活用の推進

### ①南比企窯跡群の国指定文化財への登録推進

南比企窯跡群の国指定化準備として、次のような事業を実施しました。

#### ア 指定候補地の範囲確認調査

赤沼地内農村公園に近接する石田遺跡において、範囲確認のための発掘

調査を実施し、窯跡 7 基と工房跡 1、瓦集積遺構 1 を確認しました。これら窯跡等は、東日本でも有数規模とされる坂戸市石井の勝呂廃寺の瓦を生産していたもので、白鳳時代の瓦生産と寺院の関係が明らかな例としては、全国的に見ても数少ない、貴重なものです。

#### イ 指定候補地の物理探査調査

赤沼地内農村公園に近接する境田西遺跡において、窯跡の物理探査を実施しました。窯跡が高熱を受けて磁力を帯びているという特性を生かし、地中の磁気の分布を探る磁気探査という方法で行い、多数の窯跡の埋没が確認されました。掘らないで窯跡の数を知ることが出来るうえに、実際に発掘調査を行う際にも候補を絞り込める、また経費面でも経済的である等の利点があり、今後も有効活用したいと考えています。

#### ウ 発掘調査現地見学会の開催

赤沼地内石田遺跡において、3月16日と17日の二日間、発掘調査現場見学会を開催しました。町の内外から188名もの参加者があり、関心の高さを窺うことができました。

### ②各種文化財の調査研究

各種文化財の調査研究として、次のような事業を実施しました。

#### ア 町内遺跡の確認調査

各種開発に先立ち、確認調査（試掘調査）を随時実施し、遺跡の内容と範囲の把握を行いました。今年度は確認調査 21 か所、発掘調査を 4 箇所で行いました。

#### イ 出土品の再整理・再収納

昨年度に引き続き、過去の出土品のうち整理不十分な資料の再整理と再収納を行いました。

#### ウ 文書目録の作成

地域史料関係として近世～近代の諸家文書の目録の作成も、昨年度に引き続き行いました。

### ③無形文化財の保存・継承

無形文化財の保存・継承として、町指定無形民俗文化財の保存団体に補助金を交付しました。

- ア 今宿八坂神社祭囃子保存会
- イ 泉井獅子舞保存会
- ウ 熊井囃子保存会

#### ④多世代活動交流センター展示室の活用

展示室の活用として、次のような展示活動を行いました。

- ア 美術展示室の活用として、「町所蔵美術品展～版画で旅する古都～」を開催し、町所蔵の美術品展の公開を行いました。また、特別展示として町内絵画サークルを起用した「鳩山絵画展」、写真家の森田和雄氏が撮影した鳩山の風景を特集した「鳩山ほのぼの写真館」を開催し、町内外から多くの来場者がありました。
- イ 出土品展示室の活用として、文化財展「鳩山窯跡群～25年を過ぎて振り返る大発掘～」を平成23年度末から引き続き開催しました。

#### ⑤学校教育・生涯学習との連携

生涯学習との連携として、次のような事業を行いました。

- ア 「古代工房まるごと体験 古代の技でミニ瓦をつくってみよう」を農村活性化施設「まつぼっくり」において計4回開催、3月4～8日には農村公園内に設置した復元古代窯で焼成しました。3月16～17日に開催した石田遺跡見学会ではその成果についてお披露目を行いました。

### 【評価】

#### ① 南比企窯跡群の国指定文化財への登録推進

南比企窯跡群の国指定文化財への登録推進は、平成27年度指定へ向けて順調に進んでいるものと考えますが、なにぶん対象とする遺跡の規模が大きく範囲も広いため、指定候補地の選定や範囲確認調査の方法次第では困難となる部分もあります。将来的なスケジュールを考慮したうえで、例えば第1期指定、第2期指定、というような検討を行う必要があると思われます。

#### ② 各種文化財の調査研究

各種文化財の調査研究は、出土品再整理や文書目録作成といった室内作業は概ね予定通り遂行できたものと考えられますが、各種開発に先立つ確認調査については、突発的な事案が大半であるうえに近年の景気動向から発生件数も多く、かなり厳しい状況で調整・対応しているのが実情です。専門職員の絶対的な不足を改善しない限り、現状は改善されないものと思われます。

### ③ 無形文化財の保存・継承

無形文化財の保存・活用は、例年通り補助金交付という財政的な支援に止まりましたが、担当の抱える業務の量を考えますと致し方ないものと考えられます。

### ④ 多世代活動交流センター展示室の活用

多世代活動交流センター展示室の活用は、美術・出土品展示会ともに好評のうちに開催できたものと考えています。今後は展示室のさらなる活用を図るために、美術・出土品展示室共に戦略的な企画も検討する必要があると考えられます。

### ⑤ 学校教育・生涯学習との連携

学校教育・生涯学習との連携は、特に「古代工房まるごと体験 古代の技でミニ瓦をつくってみよう」は好評のうちに開催することができました。今後は学校教育との連携も検討する必要があると思われま

## 6 おわりに

教育委員会では、今までも教育行政の重点施策について、点検・評価を行い進めてまいりましたが、平成 19 年度から始まった学識経験者の知見を活用することにより、さらに目標に向けて努力することが必要であるとのご意見もいただきました。

教育委員会では、今後とも外部評価委員のご意見・ご提言を真摯に受け止め、さらに研さんに努め、より効果的な教育行政の推進に努力してまいります。

## 学識経験者からの意見並びに提言

### 1 点検評価報告書に係る意見

#### (1) 教育委員会事業全般について

鳩山町は、大変多くの事業を行っていると思います。

さまざまなニーズに答えるために限られた町の予算や人員で運営し、充実させていくには無理があるように感じます。

既存事業を見直すということが非常に大事なことではないかと思いません。

与えられた仕事をこなすだけで精一杯で、より良いものを考えてやるというところまで及ばないのが現状のように感じます。

今まで行ってきた事業をやめるとするのはなかなか難しいですが、既存事業を縮小していく決断も必要かと思いません。

#### (2) スポーツ施設の利用について

スポーツ施設の利用について、土曜日、日曜日、祝日に施設を利用したい時には、前もって予約を行っておかなければなりません。

急に施設を利用したい時に空いていても対応してもらえないのが現状です。

現金の授受が問題となっているようですが、ぜひ施設の利用が可能になるように改善してほしいと思います。